

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年11月15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870305000		
法人名	株式会社 メディカルアシスト		
事業所名	グループホーム 和楽樹	ユニット名	1ユニット
所在地	〒300-0007 茨城県土浦市板谷1-478-3		
自己評価作成日	平成24年5月7日	評価結果 市町村受理日	平成24年11月9日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&JigyosyoCd=0870305000-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年7月6日	評価確定日	平成24年10月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>ホームは閑静な住宅地の外れに建っており、周りは田んぼに囲まれ、見渡せばぶどう園や梨畑が広がっている緑豊かな環境下にある。 地域に根差し、生活している住民の一人として自治会に参加し、清掃や盆踊り大会等地域の行事に出来る限り参加する様心がけている。 個別ケアを大切にし、一人一人の思いを具体化させていく努力をしている。近隣の幼稚園児との交流や地域住民の方の避難訓練参加など、社会との繋がりを深めていく支援をしている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>「私たちは、信頼関係で支える介護を提供します」から始まる事業所独自の理念のもと、管理者や職員は利用者本位のサービスの提供に努めている。 地域とは区長や民生委員、ボランティアなどの協力を得て事業所の行事や避難訓練の実施、清掃や祭りなどの地域活動への参加などで日常的に交流し、相互に協力し合う関係を築いている。 事業所での行事や生活の様子を写真やコメントで紹介する広報誌のほか、個々の利用者の健康を報告するケアマネ便りをそれぞれの家族等に送付するなど、利用者と家族等との絆を大切にしている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝申し送り時に、全職員で理念の唱和を行っている。 会社理念を具体化したホーム独自の目標も掲げており、職員の意識づけと共に実践に取り組んでいる。	法人の基本理念のほか、事業所独自の理念を全職員で協議して作成している。 双方とも地域密着型サービスの意義を踏まえたものであるが、事業所独自の理念はより具体的な内容となっている。 理念を玄関や事務室に掲示したりパンフレットに掲載するとともに、毎日の申し送り時に唱和して確認し合い、実践に向けた取り組みをしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、地域で行われる町内清掃や盆踊り大会・公民館で開催される行事等になるべく積極的に参加し、地域の一員として交流を図っている。	自治会に加入し、利用者と職員で清掃活動に参加したり、初午祭や敬老会などの地域行事に参加している。 近隣の幼稚園のバザーにランチョンマットや巾着袋、ストラップなど利用者と職員で制作した品を提供したり、20人から30人の児童が来訪して歌や踊りを披露するなど、地域と積極的に交流している。 毎年、区長や民生委員、ボランティアの協力を得て地域交流祭と称したバーベキュー大会を開催し、地域住民を招待している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を活用し、認知症についての説明会を行うと共にホーム自体で出来る事を話し合い、近隣の幼稚園に手作りの品物を寄付するなど、地域に貢献している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、色々な情報交換や結果報告・ホームでの行事予定や支援方法等について話し合っている。 またそこで提案された意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は市職員の参加を得て2ヶ月に1回開催している。 会議では利用者の生活の様子や家族アンケートの結果を報告しているほか、市職員から介護保険法改正の説明を受けたり、区長から災害時の協力体制についての情報提供があるなど活発な意見交換を行い、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市のグループホーム連絡会に市町村担当者も参加され、情報交換や助言・ご入居者の相談等に応じて下さり、協力関係を築いている。	市担当者とは2ヶ月に1回開催されるグループホーム連絡会で毎回顔を合わせ、空き情報などを提供するとともに、他の事業所も交えて情報交換をしたり、運営についての助言を得るなど、協力関係を築いている。 市への電話や訪問のほか、市職員の3ヶ月に1回の定期的な来訪などを通して日常的に情報交換をしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	役職者については、指定基準の理解を深めている。 他職員については、役職者より随時説明している。 また、手の届く場所に身体拘束の手引き書を置き、自由に閲覧出来る様になっている。	契約書に身体拘束や行動制限を行わないことを明示し、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 意識付けのために高齢者虐待防止のポスターを掲示したり、定期的に研修や勉強会を開いており、全職員が身体拘束の内容とその弊害を理解している。 緊急やむを得ず身体拘束をする場合の書類一式を整備している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待について半年に1回勉強会やカンファレンスを実施し、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	対象となるご入居者がいる場合は行政担当者に相談し、必要な提供が出来る様支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書にきちんと明示されており、入居契約の際には、十分に説明し同意を得ている。 疑問がある場合は、納得して頂けるまで説明するようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に苦情受付の担当者が掲示されており、入居時に説明している。 玄関に意見箱を設置している他、ご家族の要望・意見を汲み上げる為、無記名アンケートを実施している。	利用者からは日常の問い合わせや会話の中から、家族等からは来訪時や電話連絡時に意見や要望を聴くよう努めているほか、介護相談員を受入れたり意見箱を設置している。 年2回家族等にアンケートを実施して意見を聴取し、出た意見等は職員会議や運営推進会議で協議し、事業所の運営に活かしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回業務カンファレンスを開催し、その際出来るだけ職員全員参加のもと、意見や提案を吸い上げ運営に反映させている。	管理者と職員は普段から意見や提案をざっくばらんに言い合える関係を築いているほか、管理者は個々の事情を組み入れ働きやすい職場の環境づくりに努めている。 毎月行われるカンファレンスには運営者も出席して職員の意見等を聞く機会を設け、出た意見等は運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎月業務に関する届出書(残業・休日出勤・有休・研修等)を提出する他、カンファレンス時に職員の要望を聞き入れる様にしている。 また、職員が働きやすい環境整備に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	役職や経験・資格にあった研修が受けられる様に考えており、出来るだけ参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他施設との交流を図る為、市のグループホーム連絡会に参加し、お互いに情報交換や交流会を通してサービスの質の向上に心がけている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居申し込みの際、ホーム見学を兼ねて来て頂き、ご本人の状態・悩んでいる事・要望等を聞き出し、実際のサービス開始時にそれらを活かせる様にしている。 見学に来られない方については、ご家族に来て頂き、話をする様にしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居申し込みの際、ホーム見学を兼ねて来て頂き、ご家族の方が現状抱えている悩みや困っている事を聞き出し、実際のサービス開始時にそれらを活かせる様に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用を開始する際、グループホーム以外の介護サービスも紹介・説明し、ご本人及びご家族がその時必要としているサービスがご利用出来る様支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご自分で出来る事については、声掛け・説明し、なるべくご自分で行える様支援している。 また、ご本人の趣味や特技を活かし、職員と一緒に活動する様になっている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事がある際には、広報誌やご家族面会時にご連絡し、参加して頂ける様促している、		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の希望により行きたい場所があれば職員が同行したり、市外・圏外へ外出したいとの要望についてはご家族やご親戚の方にご連絡して送迎してもらっている。 ご家族のいない方は、何らかの方法で思いが叶う様支援している。	利用者の行きつけの美容室への送迎や買物への同行のほか、「家族や親戚に会いたい」などの希望があれば家族等と協力して思いが叶うよう支援している。 職員は親戚や友人からの電話を取り次いだり、年賀状や暑中見舞いの代筆を行い、利用者がこれまで大切にしてきた人や場所との関係が継続できるように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	普段の生活からご入居者同志の関係や相性を把握し、グループ分けや座席の調整を行い、孤立する事なく関わって生活していける様支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用の契約が終了しても、ご入居者やご家族の方から要求がある場合は、必要な相談等に応じる様にしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ホーム独自のハートケアプラン表を作成し、日常の会話や活動の中でご本人がやりたい事・行きたい所・こうしてもらいたいと思う事等を書き出し、ご本人の希望や意向の把握に努めている。	入居時に介護支援専門員が利用者や家族等から生活歴を聴き取り記録しているほか、事業所独自に利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望を反映させた「ハートケアプラン」を作成し、全職員で共有している。 ハートケアプランは利用者の状況に応じて随時修正を加え、利用者の実情にそった内容となっているほか、意思を表明できない利用者には表情やしぐさなどを観察して一人ひとりの思いや意向を汲み取るよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の他福祉サービスご利用時の様子や状況をご家族や他事業所から情報収集を行い、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送り時やカンファレンスにご入居者の状態報告を行うと共に、連携医療機関にも報告・相談し、対応している。 生活行動で疑問がある場合は、ご家族にご連絡・相談し、把握しておく様にしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回ケアカンファレンスを行い、ご入居者やご家族の意見を取り入れた介護計画を作成している。 ホーム独自のハートケアプラン表も取り入れ、3ヶ月毎に見直している。	介護計画は介護支援専門員が利用者や家族等の希望を取り入れ、主治医や職員の意見をまとめて作成し、6ヶ月毎に見直しているほか、心身の状態に変化が生じた場合はその都度見直し、利用者や家族等の確認を得ている。 長期目標期間は6ヶ月、短期目標期間は3ヶ月を基本に設定し、3ヶ月毎のモニタリングで調整しているほか、援助内容は誰が見ても行動に移せるよう具体的なものとなっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りノートやケース記録への記入のほか、カンファレンスを活用しながら情報を共有し、日々のケアに当たっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご入居者やご家族の方と相談しながら、一人一人の要望に応えられる様に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事・イベントの際にはボランティアの方に声を掛けて協力して頂いているほか、地域公民館の図書館で本を借りたり、地区サークル活動に見学に行ったりしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時にご入居者が受診希望される医療連携機関を確認し、適切な医療を受けられる様に支援している。	月1回協力医療機関からの訪問診療を受診できる体制になっているほか、利用者や家族等の希望にそってかかりつけ医への通院を支援している。 週1回提携している訪問看護ステーションの看護師が来訪して全利用者の健康を管理している。 受診結果は電話や毎月の便りなどで家族等に報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	連携医療機関の看護師に相談しながら、日常の健康管理を支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご入居者の入院中の状態を病院やご家族を通して確認したり、必要に応じてご家族了承のもと医療機関関係者と通院に向けての話し合いを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化や終末期の方針についてご入居者やご家族に説明するとともに、状態変化により重度化した場合はホームとご家族で話し合うほか、係りつけの主治医とも今後の対応を検討している。	事業所では利用者や家族等の希望にそって看取り介護を行う方針であり、契約時に説明して同意を得ている。 本年6月に「看取りに関する指針」として具体的な内容を重要事項説明書に盛り込んだが、その内容を全職員で共有するまでには至っていない。	新たに作成した「看取りに関する指針」に記載されている「看取り介護計画書」や「経過観察記録」、「臨終時の記録」、「看取り介護終了後のカンファレンス会議録」の準備を行うとともに、介護の実施内容として明示している「死生観教育」などについて職員研修を実施し、全職員で共有することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時のマニュアルを作成・設置しているほか、応急手当や初期対応の講習を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回避難訓練(地震想定・夜間想定・火災想定)を行うほか、運営推進会議の際に非常時協力の呼び掛けをしている。 また、近隣の方や区長・民生委員などにも声掛けを行い、災害時協力の体制を依頼している。	年2回昼間や夜間を想定した避難訓練を実施し、訓練時の状況や反省点、今後に向けての課題等を全職員で話し合って記録に残すとともに、次回の訓練に活かしている。 避難訓練には地域の人々の参加を得ているほか、非常時には近隣宅の井戸水や公民館の毛布の利用が可能となっているなど、地域と協力体制を築いている。 非常時に備え、食糧や飲料水、懐中電灯などを備蓄している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人間の尊厳・プライバシーの尊厳を理念に掲げ、ご入居者の自尊心を損ねない様注意して声掛け対応を行っている。	職員は利用者の呼び方や言葉遣いなどに気を配り、管理者は「ちょっと待ってください」などと職員が発する言葉においても言葉の暴力につながる可能性があるため、理由付けが必要であると考えている。 脱衣時に衝立を利用したり、トイレでは必ずドアを閉めるなど、利用者のプライバシーに配慮した支援をしている。 個人情報を使用する場合は利用目的を明示して家族等の承諾を得ているほか、個人用ファイルは事務室内の鍵のかかるロッカーに保管し、情報漏洩に留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	余暇活動やレクリエーションなどご本人がやりたい事を聞き出し、買い物や外出などもご本人の希望に合わせて日時を決め、支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや都合ではなく、ご本人の希望を取り入れながらご自分のペースで過ごして頂く様に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣服は、ご自分で選んでもらっている。 理容は、2ヶ月に1回ボランティアの方に来て頂き、切ってもらっている。 また、ご入居者が行きたいと思う店がある時は、職員がご家族の方と相談し行ける様にしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の行事にちなんだメニューを献立表に取り入れ、ご入居者の好みや咀嚼能力に合わせた調理や味付けなどを工夫している。 個々の状態に合わせ、配膳や盛り付け等出来る事は職員と一緒に行う様支援している。	食事は配食業者によってカロリー計算されたもので、利用者の嚥下機能の状態に合わせて調理したり、嫌いな品には代替品で対応してるほか、外食の機会を設けて食事を楽しむことができるよう支援している。 利用者は玉ねぎの皮むきやインゲンの筋取りなどの下準備やテーブル拭き、下膳など、できることを職員と一緒にやっている。 職員は利用者と同じ物を食べているが、介助している職員は食事の時間をずらすなど、臨機応変に対応している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスに配慮した食事を提供し、毎回食事摂取量をチェックしている。 水分摂取量の少ないご入居者については、水分チェック表で1日の摂取量を確認している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨き・うがいを行い、口腔内の状態把握に努めている。 異常があった場合は、連携医療機関に報告し、適切な支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握し、オムツ交換及びトイレ誘導を見計らって促し、トイレで排泄が出来る様支援している。	職員は利用者の生活リズムや排泄のパターンを把握してトイレ誘導を行い、立位が困難な利用者以外はトイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。 夜間の場合もトイレ誘導をしたり、ポータブルトイレを利用し、なるべくおむつを使わないよう支援している。 失敗した場合は誰にも気付かれないようトイレや風呂場に誘導し、利用者の自尊心を傷つけないよう配慮をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘症の方については、連携医療機関に相談・助言を頂きながら運動や食事療法を行い、予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的には、毎日入浴出来る様にしている。極力、ご入居者の希望の日時に入ってもらっている。	風呂は毎日沸かし、週3回の入浴を基本としているが、利用者が希望する場合はいつでも入浴ができるよう支援している。 血行をよくするためにマッサージをしながら足浴を支援したり、柚子や菖蒲、入浴剤などを利用して入浴を楽しめるよう支援している。 入浴を拒む利用者には強要せず、タイミングを見計って再度誘ったり、声かけする職員を替えるなど工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣や状況に応じて日中の活動を多く持ち、適度な疲労と適切な休息・睡眠が摂れる様支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬が処方された際には、処方箋を全職員が確認するほか、変更があった場合は必ず申し送りノートに記入している。 副作用については、連携医療機関や看護師に確認・相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時に生活歴や趣味・特技などを教えてもらい、日々の余暇活動に活かし、反映させている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段は 行けないような場所でも、本人の 希望を把握し、家族や地域の人々 と協力しながら出かけられるよう に支援している	天気の良い日はベランダや庭で日光 浴をしたり、散歩に出掛けたり、行 事にカラオケ・外食会・買い物を取 り入れ、戸外に出掛けられる様支援 している。	天気の良い日は車いす使用の利用者も一緒 に事業所周辺を散歩し、五感を刺激したり四季 の移り変わりを楽しんでいる。 ベランダや庭にテーブルや椅子を用意して お茶を飲むなど、気軽に外気浴を楽しめるよう 支援したり、山や公園にドライブに行き、 気分転換ができるよう支援している。 利用者の希望にそって日用品の買い物や ペットショップに同行するなどの支援をして いる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人ひ とりの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援して いる	金銭管理は大半がホーム側で行って おり、買い物や外出時には職員が支 払いをしている。ご入居者がご自分 で出来る方については、ご本人がお 金を所持したり、支払ったりしてい る。 出納帳は、面会時にご家族に確認し て頂いている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電 話をしたり、手紙のやり取りがで きるように支援をしている	電話は、基本的に自由に使用してい る。 ご自分で連絡出来ない方について は、職員が代わりに電話を掛けたり、 手紙を代筆したりして支援してい る。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居 間、台所、食堂、浴室、トイレ 等）が、利用者にとって不快や混 乱をまねくような刺激（音、光、 色、広さ、温度など）がないよう に配慮し、生活感や季節感を採り 入れて、居心地よく過ごせるよう な工夫をしている	ホームの周りには季節の花が咲き、 ホールから連なるベランダからは畑 で育った野菜が一望出来る。 館内には、ご入居者の普段の生活風 景写真や季節に見合った装飾を施 し、ご入居者が居心地良くゆっくり と寛げる様工夫している。	玄関や居間に季節の花を飾ったり、七夕や 雛祭りなどの行事にちなんで制作した利用者 の作品を飾り、家庭的な雰囲気ですぐ居心地よく 過ごせる場所となっている。 居間の一角に4畳半ほどの畳のスペースを 設けたり、居間や庭先にソファや椅子を配 置して利用者の居場所づくりをしている。 茄子やにら、プチトマト、しょうが、西瓜 などを収穫できる自家菜園は、利用者と職員 が共同で作業したり収穫を楽しむ場所となっ ている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースとして和室があり、コーナーにはソファが置かれている為、気の合う仲間同志で過ごせる様場所を確保している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使い慣れた物や家具を持ち込んで、ご本人が居心地良く過ごせる様配慮している。 ご自分で整理整頓が出来ない方については、職員が季節ごとに衣類を交換し、クローゼットに整理して収納している。	居室には介護用ベッドが設置されている。 利用者は居室にテレビやラジオ、タンスなどの使い慣れた馴染みの物品のほか、位牌や遺影など大切な物品を持ち込んだり、家族の写真などを飾って居心地よく過ごせる場所となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部の主要部には手すりが付いており、安全に生活が送れる様に工夫している。玄関はスロープになっている為、車椅子でも出入りがスムーズに行える。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム和楽樹

作成日 平成24年11月7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重要事項説明書に看取りに関する指針の具体的な内容を盛り込んでいるが、実際に職員が全員共有するまでには至っていない。	終末期ケアの対象となる利用者が発生した場合、主治医・看護師の指示の下、速やかに対応出来る体制を整えていく。	①定期的な研修や勉強会を開催し、死生観教育を行うと共に、介護実施にあたり、チームケアの充実と強化を図る。 ②各書類の設備を行う。	6ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。